

株式会社やまみ(スタンダード市場 2820)

2025年6月期第1四半期累計期間業績概要

○売上高は前年同期比 397 百万円増加

当社の経営環境は、長期化する原材料費やエネルギーコストの高騰、記録的な円安水準、これらによる国内での急激な物価上昇などに影響を受ける状況が続いております。

当第1四半期累計期間における当社業績は、売上高は前年同期比 397 百万円増加致しましたが、昨年手当てした輸入大豆の使用が全工場が始まり、また7月には160円を超える年初来の円安水準となり、輸入大豆だけでなく、包装資材、エネルギー価格の高騰の影響を受け、売上原価が前年同期比 581 百万円増加したため、売上総利益は、前年同期比 183 百万円の減少となりました。同様に営業利益、経常利益、四半期純利益についても前年同期比減少となりました。

当第1四半期累計期間中に、本社工場では厚揚げラインの増設と油揚げラインの設備更新を行いました。厚揚げラインは2ラインから3ラインに増加し生産能力を1.5倍に引き上げます。油揚げのラインは今まで手作業だった工程を自動化することで生産能力を3倍に引き上げます。以上により、今まで生産量の問題で納入出来なかった先にも売り込みが可能となります。

○富士山麓工場の売上高について

富士山麓工場においては、既存取引先の上位10社が軒並み前年同期比118.2%から249%の増加となっています。これは関東圏のお取引先様にPBや厚揚げ等新規導入の商品が増えた結果です。特に北海道産大豆を使った商品の新規導入が増え、単価の上昇につながりました。関東圏での当社の知名度はまだ低く、消費者の皆様へ当社製品の認知度を上げるため、特売の実施回数を増やすように積極的に営業を進めております。

○直近の事業環境について

豆腐製造業は、大手小売業者の要望に応えられる大規模事業者への集約が加速度的に進行しております。大豆や食用油の価格上昇以外にも、原油価格の上昇による包装材料や物流費など各種コストはさらに上昇しており、円安の影響も含めた厳しいコスト環境を背景に、同業他社の廃業も増加の一途を辿っております。

以上のような環境下、当社は伝統的なお豆腐から収益性の高いカット3P豆腐や競争力の高い厚揚げ等、お取引先様にご好評頂いている製品への集約を進め、国内産大豆による高付加価値商品への切り替えを進めております。

○業績サマリー（第1四半期 前年同期比）

単位：百万円

| | 2024年6月期 第1四半期実績 | 2025年6月期 第1四半期実績 | 前年同期比増減率 (前年比) |
|--------|---------------------|---------------------|-------------------|
| 売上高 | 4,400 | 4,798 | 9.0% |
| 営業利益 | 414 | 208 | △49.8% |
| 経常利益 | 413 | 207 | △49.8% |
| 四半期純利益 | 309 | 141 | △54.1% |

1. 2025年6月期第1四半期業績概要

◎売上高

本社工場は当期間中に設備の更新を行ったため微増となりましたが、全ての工場で前年同期比増加、特に関東エリアでの販売が好調に推移しております。ただ、7月、8月は猛暑の影響で消費者の購買意欲は低く、売上高は前年同期比で397百万円増加の4,798百万円となりました。

◎売上総利益

為替レートが想定以上の円安となり原材料の仕入れに影響を与えました。また、包装資材及びエネルギー価格の高止まり等で売上原価が前年同期比581百万円増加し、売上総利益は前年同期比では183百万円の減少となる814百万円となりました。

◎営業利益

荷造運賃や人件費の上昇はありましたが、その他費用の削減を図り販売費及び一般管理費は前年同期と比べ22百万円の増加に抑えることが出来ました。しかしながら売上総利益が183百万円減少したことで営業利益は208百万円となりました。

◎経常利益

営業外収益、営業外費用ともに前期と大きな差異はございませんでしたが、営業利益と同様、売上総利益が減少したことで、経常利益は207百万円となりました。

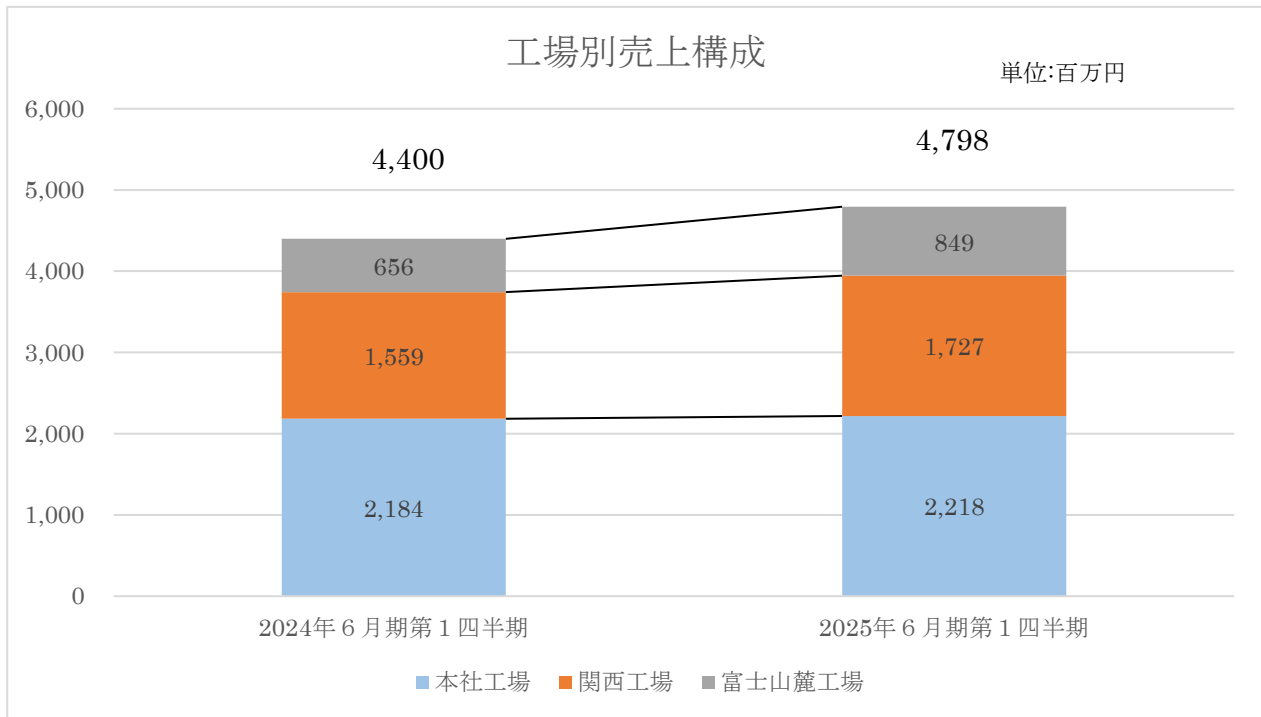
◎四半期純利益

営業利益、経常利益と同様、売上総利益が減少したことで、四半期純利益は前年同期比で167百万円減少の141百万円となりました。

○工場別売上構成について

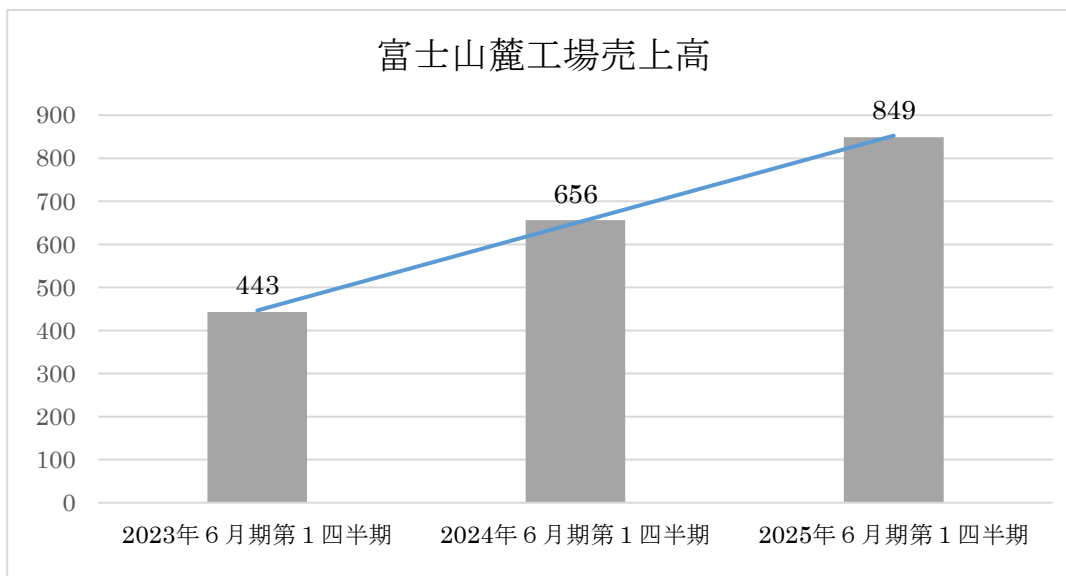
2025年6月期第1四半期における当社の工場別売上構成について

本社工場は設備更新を行った期間、生産を停止したため売り上げは微増となりましたが、関西工場や富士山麓工場はお取引先様から、下段のメイン商品や厚揚げ等取扱商品が増え順調に推移いたしました。



○富士山麓工場売上高について

富士山麓工場については、関東でのお取引先様に当社製品の競争力、品質が認知され幅広く商品の納入が増加し、2025年6月期第1四半期における売上高が849百万円となり、前年実績の656百万円から193百万円増加しました。



【株式会社やまみ 会社概要】

設立： 昭和 50 年 1 月
代表者： 代表取締役社長 山名 徹
資本金： 1,245 百万円
事業内容： 豆腐及びその関連製品である厚揚げ、油揚げ等の製造、販売
本社： 広島県三原市沼田西町小原字袖掛 73 番地 5
事業所
関西工場
滋賀県甲賀市水口町さつきが丘 16 番地
富士山麓工場
静岡県駿東郡小山町湯船字下原 959 番 16
大阪営業所
大阪府茨木市末広町 4-41-202
東京営業所
東京都北区東田端 2-7-16 神原ビル 2 101 号室
従業員数 正社員 259 名、パート社員 334 名
合計 593 名 (2024 年 9 月末現在)

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社やまみ 経営企画室

TEL : 0120-047-803 FAX : 0848-86-3676 e-mail : ir@yamami.co.jp

本資料は、2025 年 6 月期第 1 四半期の業績及び今後の経営ビジョンに関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は 2024 年 11 月 14 日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。